

銀座街づくり会議

http://www.ginza-machidukuri.jp

〒104-0061 中央区 銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

*メール配信をご希望の方はお知らせください*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています*本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます*

銀座街づくり会議では、2015年4月、「動画表現（デジタルサイネージ）のルール」を定めました。そこでは、「銀座の街並みに対し、ヒューマンスケールを超える大きさの動画を表示することをやめていただきたいこと。特に、交差点から見える風景として、動画を掲出

することは避けること」をお願いしています。

しかしながら、最新技術であるデジタルサイネージによる表現を実現したいと願う事業者の声は後を立ちません。そこで、「デジタルサイネージを設置する場合の指針」を定めました。



「デジタルサイネージを設置する場合の指針」を発表しました。



デジタルサイネージの技術は急速に進歩しており、その可能性に期待する声が高いことは否定しようもありません。しかし、銀座は成熟した街の表情を、優れた建築デザインとショーウィンドウで維持発展させていくという基本的な姿勢を持っているため、この姿勢がまったく違う表現方法によって根本から覆されてしまうことに大きな危惧を持っています。

そこで、前述のルールに加え、デジタルサイネージを設置する場合の指針を下記のように定めました。

指針1 建物による街並みを美しく見せるための、新しい表現手段として成熟させてください。

銀座は、次々と変化する広告デザイン（特に動画のように瞬間的に変化する表現）によってではなく、建物のファサードデザインによって美しい街並みを表現することをめざしています。

また、銀座は「銀ブラ」を育ててきたショーウィンドウ文化を大切に、良いショーウィンドウを育て、それをアーティスティックな表現にまで高めるために努力してきました。それが銀座文化の一部となり、街の水準を高めてきたと自負しています。デジタルサイネージによる表現もまた、これらのデザインと一体となって街の品位と文化性を高めるものになることを期待しています。

指針2 コマーシャルベース、商品広告ではなく、抽象度の高いイメージの表現にしてください。

銀座ではデジタルサイネージの使用を好ましいとは考えていません。やむなく使用する場合には、

- ・コマーシャルベースの商品広告ではなく、抽象度の高いイメージ表現とすること。
- ・人物写真は等身大以下のものとし、商品写真の大写真、価格表記、価格訴求の告知、商品説明等、説明的で押しつけがましい文字表現はやめること。
- ・商品を紹介する場合は、可能な限り「銀座にしか置いていない品物」を選定すること。
- ・当該施設で提供しない商品、サービス等を掲出しな

いこと。

- ・TVCMや雑誌、新聞等の広告流用はしないこと。を前提にコンテンツをお考えください。

風格ある街並みの風景の一部となるよう表現内容、表現方法を工夫し、企業イメージをあげながら銀座のイメージを上げる工夫をしてください。季節感、消費シーン提案を補う、小さく、美しく、見やすいデジタルサイネージによって、銀座の街並みの美観を保ち向上させましょう。

指針3 動画の動きはできる限り遅くし、成熟した街の落ち着いた雰囲気損ねないよう配慮してください。

歩行者の歩くペースや目線に配慮し、静止画がゆっくり切り替わる程度の印象を与えることが限度です。

指針4 交差点の近くに設置する場合は、信号と紛らわしいため、安全性の観点から、警察の同意を得てください。

指針5 表現のコンテンツについて、逐一協議をお願いします。

デジタルサイネージによる表現のコンテンツ如何によって、大きく街の表情が変わる可能性があります。そのため、コンテンツの表現を決める責任者を明らかにしたうえで、コンテンツの変更に応じて、銀座デザイン協議会と逐一協議することをお願いします。当協議会もこの技術の将来性に配慮し、この表現方法について学びながら、よい事例を積み重ねるかたちで、皆さんのご要望に対処していきたいと考えます。

新しい技術を否定することなく、よいものであれば取り入れていきたいというのは銀座のまちづくりの基本的な考えです。デジタルサイネージも、どのような姿が銀座の街にふさわしいのか、何度も議論を重ねた結果、ルールおよび指針としてまとめています。

銀座の価値を高めるコンテンツを皆様にお考えいただき、銀座がより魅力的な街となるよう、ご理解ならびにご協力をお願いいたします。